

リチウムイオン電池による火災に注意！！



リチウムイオン電池を搭載した製品からの火災が発生しています！

リチウムイオン電池とは

繰り返し充電、放電できる電池のことで、主に小型で大量の電力を必要とする製品に使用されています。この電池は可燃性の有機溶剤の電解液を使用しているため、衝撃等により電池内部で短絡して出火する危険性があります。

製品例

モバイルバッテリー、スマートフォン、電動アシスト付き自転車、携帯型扇風機、コードレス掃除機 等

出火事例

- ・落下や浸水したモバイルバッテリーを使用していたところ火災となった。
- ・モバイルバッテリーが暖房器具の温風により加熱されたことで火災となった。
- ・充電中の携帯型扇風機が何らかの要因で短絡し出火した。

リチウムイオン電池による火災を防ぐためには

- ・破損、ふくらみ、熱くなる等の異常のあるモバイルバッテリーは使用しない。
- ・熱くなる場所に放置しない。
- ・水のかかる場所では使用しない。
- ・製品の取扱い説明書の指示に従い、正しく使用・管理しましょう。

PSE マークのある製品を使用しましょう。

詳しくは→5年で2倍以上に！リチウムイオンバッテリー搭載製品の事故～モバイルバッテリーは購入時に PSE マークを確認しましょう～ | 製品安全 | 製品評価技術基盤機構

廃棄物処理施設などにおける火災も増加しています！

不燃ごみとして廃棄されたモバイルバッテリー等（電子タバコなどを含む）に含まれる充電式電池が廃棄物処理施設内で圧縮され、破損したため火災となっています。

リチウムイオン電池等の充電式電池を含む家電製品等を廃棄する際には、地域の分別ルールに従って適切に廃棄しましょう！！

